



広報

かつやま

11月号

No.578

Katsuyama City Newsletter

平成15年11月13日発行

CONTENTS

えちぜん鉄道全線開通
奥越マラソン勝山大会
Hot・話題
出会い ふれあい

秋空に映えるヤマモミジ (法恩寺山麓 中の平)

えちぜん鉄道 全線開通

10月19日

永平寺口ー勝山間が開業

もどつてきた



出発式で発車の合図をする山岸市長



あっ! 来た! 来た!



西川知事を迎えてテープカット



安全運転を願い
運転手とアテンダントに花束贈呈

えちぜん鉄道の永平寺口ー勝山間が10月19日に営業運転を開始し、京福電鉄の事故以来2年4か月ぶりに全線が開通しました。前日の18日には全線開通を記念してイベント列車の出発式が行われたほか、勝山駅周辺では開通を祝うさまざまなイベントが盛大に開かれ、たくさんの市民や鉄道ファンでにぎわいました。

沿線自治体と住民の熱意が一体となって復活した鉄路。これからえちぜん鉄道を支えていくのは私たち利用者です。



山海の味を求める人びとでにぎわう地元と沿線各地の特産品コーナー



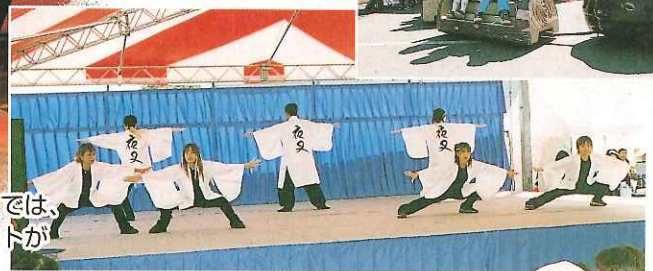
勝山駅は **大** にぎわい!

10月18日 全線開通記念イベント

出発式に続いて、会場の特設ステージやクロスドームでは、多彩なイベントが繰り広げられました。

地元勝山の「左義長ばやし」や「かちやまワッショイ」、クロスドームでのファッションショーのほか、永平寺町、上志比村、福井市、三国町の沿線市町村からも伝統芸能が披露されるなど、大勢の観客とともに全線開通を祝いました。

また、会場周辺では沿線各地の地元特産品の販売やうまいもん飲食コーナーも開かれ、会場は開通を楽しみにしていた多くの市民らでにぎわいました。



特設ステージやクロスドームでは、開通を祝うさまざまなイベントが繰り広げられました。

鉄路の響き

さんには、えち鉄

40代女性 (会社員)

幼い頃から電車の音を聞きながら大きくなりました。駅に活気が戻って本当にうれしいです。また明日から電車通勤します。

60代女性 (無職)

福井市内の病院に毎週通院していますが、この冬は暖かい電車に乗って、時間通り病院に入ることができそうなので安心していきます。

30代女性 (無職)

ふだん福井へ行くときは車を利用することが多いのですが、今日はイベントがあると聞いて子どもとききました。電車は必要だと思えます。土日の家族割引があるとうれしいですね。

10代男性 (高校生)

友だちと一緒に福井駅前の映画館や書店に時々行きます。電車だと自分たちだけで出かけることができるのいいですね。

休日は便利でお得な一日フリーきっぷで!

大人気発売中!

大人800円 小児400円

乗り降り自由 往復OK
どこまで乗ってもこの金額

- 土・日・祝日・年末年始(12/30~1/3限定)です
- 駅の窓口およびアテンダントにお申し出ください
- 問 えちぜん鉄道(株)お客様相談室 ☎0120-840-508



新コースに1,343人健脚

第23回奥越マラソン勝山大会



秋の奥越路をランナーたちが駆けぬげる第23回奥越マラソン勝山大会が、10月12日、長尾山総合公園をスタート会場に開催されました。市街地をコースにしていた前回までの大会とは違い、今回は、長尾山総合公園を発着点とし、北谷町杉山や野向町北野津又などをめぐる山道中心のコース。

長尾山総合公園芝生広場での開会式の後、1343人の参加者らは、ハーフの部や親子の部など5種目16種別に分かれて次々にスタートしました。

高低差250mのコースで自分の限界に挑戦する人や、景色を楽しみながらのんびり走る人などランナーたちはそれぞれ思い思いのペースで、ほんの秋色に染まり始めた山々の景色を満喫しながら走りを楽しんでいました。

仲よしグループで参加します



岐阜県から親子で参加



ホノルルマラソンにも参加します

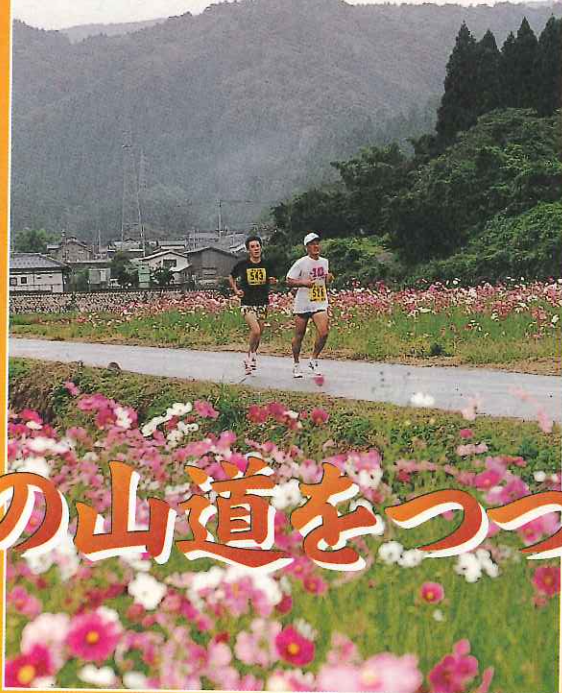


選手宣誓をする遅羽町 菅藤さん一家



82才、元気です!





秋まっさかりの山道をつつむ

ランナーの汗と温かい声援



着ぐるみで「恐竜王国」をPR!

さて、結果はいかが?

田畑伊三男さん(82)今立町(5キロの部、今大会最高齢の参加者)

今年の勝山大会は、森の中のコースと聞いて楽しみにしてきました。

60歳のときにマラソンをはじめて以来、393回目のマラソン大会です。年内に400回出場達成が目標です。

山田悦子さん(57)愛知県(ハーフ女子の部、最高齢の参加者)

福井の人は人間性がガラガラしていないので大好き。12回目の参加になるホノルルマラソンのトレーニングを兼ねて完走をめざします。

西川義則さん(46)、惇史さん(小2)岐阜県(2キロ親子の部、最も遠くからきた親子)

岐阜県には「親子の部」がないので奥越マラソンには毎年参加しています。昨年が続いて親子で挑戦します。完走したら、家族で恐竜博物館を見てから帰ります。

平成15年度 勝山市教育委員会表彰式

文化の日の11月3日、市民会館において平成15年度教育委員会表彰式が行われました。

文化活動、社会体育活動など各分野で功績のあつたかたが26の個人および団体が表彰されました。(児童生徒の表彰は各学校で行われました。)

(順不同・敬称略)



文化賞

勝山恐竜研究会 勝山商工会議所内

広報紙「SAURS」の市内全戸への配布、恐竜化石発掘体験、恐竜教室、セミナーなどを開催し、恐竜に関する知識の普及を図った。

文化功労賞

木村実子(76) 昭和町一丁目

昭和37年より表千家流茶道に精進され、茶道の普及と後進の育成に尽力された。

社会体育功労賞

山形博美(67) 滝波町一丁目

村岡町体育協会の役員を17年間務めるなど体育振興に尽力された。

玉木次也(83) 荒土町松ヶ崎

勝山市ゲートボール協会の副会長、審判委員・競技委員として活躍し、競技の普及振興に尽力された。

学校教育奨励賞

吉川憲男(47) 野向町北野津又

不登校生徒の指導と対応に取り組むとともにコンピューター指導等の

情報教育に尽力された。

伊藤浩行(43) 郡町2丁目

市教育研究会算数・数学部会事務局として数学検定試験を導入するなど学習意欲の喚起に尽力された。

西川直美(45) 荒土町細野

道徳教育に関する全国大会において研究発表を行うなど児童の道徳性の育成に尽力された。

斎藤雅代(40) 遅羽町蓬生

2年連続でブラスバンド部を北陸大会へ導くなど秀でた指導力を発揮し、音楽教育の発展に尽力された。

市岡幸恵(35) 上志比村市石工門島

県立盲学校や福祉施設との交流学習を行うなど教育環境の工夫や的確な授業づくりに尽力された。

仲村藤子(48) 鹿谷町本郷

養護教諭として、生活指導に力を注ぎ、保護者とともに食事と生活習慣改善の実践指導に尽力された。

学校保健奨励賞

前田隆典(49) 郡町2丁目

奥越中体連や村岡町体育協会の役員を務め、学校体育のみならず社会体育の分野でもその振興に尽力された。

社会教育奨励賞

むろこヤングパワーズ 村岡地区

かちやまワッショイに参加した「まちづくり・むろこの会」の振り付け考案および踊り指導等に活躍し、世代間交流と地域活性化に尽力された。

スポーツ賞

勝山ボウリング男子チーム(県大会優勝)・勝山ボウリング女子チーム(県大会優勝)

学校文化賞

▼写生画 荒井光子(成器南小3年)

学校スポーツ賞

▼バドミントン 松川直弘(北部中3年)・愛宕祐樹(中部中3年)・竹内宏徳(中部中3年)・笹木里司(中部中3年)・川村勝平(北部中3年)・竹内翔吾(北部中3年)・森石顕(北部中3年)・中部中学校男子バドミントン部(全中大会出場)・南部中学校男子バドミントン部(全中大会出場)・北部中学校男子バドミントン部(全中大会出場)・ソフトボール 水野郁美(大野高等学校2年)

芳野町における 地番の表示を わかりやすくします。

— 1字地番整備事業 — (住所は変わりません)

法務局へ登記簿を取りに行くとき、地番がわからず困ったことはありませんか。

市では、平成13年度から市街地の勝山字や元禄字を各行政区の名称に変更し、わかりやすくするための「1字地番整備事業」をすすめています。平成15年度は芳野町1、2丁目の変更を予定しています。

この事業により、住所がわかれば土地の所在もわかるようになります。

地番が変更された場合は、法務局から土地所有者に対し、新地番が通知されます。

また、地番変更に伴い戸籍が変更になるかたには、世帯主に対して市役所市民生活課から通知いたします。(通知時期は平成16年2月ごろを予定しています)

問 総務課 行政・情報グループ(☎内線 221)

常陸宮ご夫妻 恐竜博物館 ご視察

本県をご訪問されていた常陸宮ご夫妻が、10月6日の午後、県立恐竜博物館をご視察されました。

正面玄関で

は、車から降りられたご夫妻に対し、山岸市長や藤澤市議会議長らがお出迎えし、集まったたくさんの方々が小旗を振りながら歓迎していました。博物館内の常設展示場では濱田館長がお二人を案内し、肉食恐竜ティラノサウルスや草食恐竜など、恐竜の種類や特徴などについて説明しました。

ご夫妻は、首の長い竜脚類の恐竜



の前では「うまく呼吸ができたのでしようか」との質問もされるなど、大変熱心にご覧になられていました。また、館内の土産物店では、翼竜の模型なども購入されたそうです。ご夫妻は、恐竜博物館をご視察のあと、小松空港から帰京されました。

「市長への手紙」集計報告

みんなで考える

これからのわがまち

市では、9月の市民提案月間に合わせて、「市長への手紙」と題し、市政に関する意見や提案を募集しました。今年度は、「行政改革の推進」や来年の「市制50周年記念事業」など、いま勝山市が取り組んでいる課題について募集したところ、多くのかたからご意見が寄せられました。

10月末までに88通が寄せられ、このうち「行政改革の推進」については約30件、「市制50周年記念事業」については約10件のご意見、ご提案をいただきました。また、10月19日に全線開通した「えちぜん鉄道」に関するご意見も多くいただき、みなさんの鉄道への関心の深さがう

かがえました。このほかにも、市政に関する貴重なご意見を数多くいただきましたが、これらはすべて、山岸市長が読ませていただきました。市では、これらの意見や提案を今後の市政運営の参考にさせていただきます。ありがとうございました。



宇宙開発に興味津津

10月29日に行われたふれあい市民講座では、勝山市出身で、宇宙航空研究開発機構の有人システム安全信頼性管理室長を務める長谷川秀夫さんをお招きし、宇宙開発についての講演会が行われました。

母校の成器南小学校を訪ねた長谷川さんは、4～6年生の児童を前に宇宙開発の歴史などをわかりやすく説明していました。児童からも、「宇宙飛行士には、体重制限があるのか」、「日本ではどんなロケットが造られているのか」などの質問が飛び交いました。

また、夜には、市民会館で一般市民を対象にした講演会や交流会も行われました。



冬山登山の安全を願って



平泉寺から法恩寺山頂へ向かう途中の標高1000メートル付近にある避難小屋「中の平休憩所」では、10月20日、晩秋の風物詩となった「冬支度」が行われました。

市の商工観光課職員らが早朝から、室内の清掃や「まきストープ」の点検、煙突掃除などの作業を行いました。また、外では、おのを振り下ろしながらまき割りに精を出し、紅葉で色づく林の中に「カーン、カーン」という心地よい音が鳴り響いていました。

午後には、冬山登山客を迎え入れる準備も整い、職員らは、まきストープに手をかざして暖をとりながら、この冬の登山の安全を祈っていました。

北部中学校でも清掃奉仕

勝山警察署が継続的に実施している青少年健全育成に向けた清掃奉仕作業が北部中学校の全校生徒を対象に開催されました。

この奉仕作業には、これまでにも中部中学校や南部中学校の生徒が取り組んできましたが、今回は勝山ロータリークラブなど一般市民も含め約390人が参加しました。

村上署長の「この活動を通じて社会のルールを守る意識をもってほしい」というあいさつの後、参加者はそれぞれの作業場所にわかれ、えちぜん鉄道保田駅、発坂駅の清掃や坂東島地係の県道沿いに不法投棄されたごみを分別しながら回収しました。



秋満喫

スポーツフェスティバル2003

10月12日、市民のスポーツの祭典、「スポーツフェスティバル2003」が長尾山総合公園と弁天緑地グラウンドを会場に開催されました。

今年から新しく会場となった長尾山総合公園では、親子連れなどたくさんの方々が参加されました。

両会場では、フリスビーなどのニースポーツ体験やカヌー体験、ゲートボール体験、マレットゴルフ体験など誰もが楽しめる各種スポーツコーナーが設けられ、参加者らは心地よい汗をかいていました。

また、長尾山総合公園内のどきどき発掘ランドでは、勝山ライオンズクラブ主催の「化石発掘体験」も行われました。



ウォーキング大会

当日は市民にすっかり定着したウォーキング大会が行われました。これは来年開催される全国スプレック祭のプレ大会として、ちやま歩こう会の主催で開催されたものです。

早朝から集まった111名の参加者は、長尾山総合公園の芝生広場をスタートし、公園内の林間をぬける約5キロのコースを思い思いのペースで歩きながら、体力づくりと森林浴を楽しみました。全国スプレック祭は、勝山ではトランポリン大会と健康マラソン大会が開催される予定です。

うまいもん祭り と そば祭り



すばらしい秋晴れに恵まれた長尾山総合公園で10月25日、26日の両日、「うまいもん祭り（勝山観光協会主催）」と「そば祭り（勝山麺類組合主催）」が開催されました。

今年で3年目のうまいもん祭りでは、勝山の食材を使ったマツタケご飯やアユ、アマゴの塩焼きなどを販売する約30店の茶屋から、威勢のよいかげ声が聞こえ、中には一日中行列のときれない茶屋もありました。

左義長はやし、かちやまワッショイなどのアトラクションや、同時に行われた恐竜化石の発掘体験、アマゴのつかみ捕りは、たくさんのお客様や親子連れでにぎわっていました。

また、昨年までの教育福祉会館から長尾山総合公園に会場を移したそば祭りはすべて勝山産のそば粉を使用した手打ち麺を用意したこともあって、用意した約2500食を求めて長い行列ができていました。

11月の健康診査

健診日	会場	受付時間	胸部レントゲン	基本健診	胃・大腸がん	子宮がん
11月23日(日)	教育福祉会館	AM 8:00~10:30	●	●	●	
		AM 9:30~10:30				●

胸部レントゲン	200円	基本健診	1,300円
胃がん	900円	大腸がん(事前申込必要)	500円
子宮がん	600円	乳がん	300円

※50歳以上のかたは、マンモグラフィーが受けられます。(要予約)

問 健康長寿課健康増進グループ(☎内線515・516)

野山に出かけられる皆様へ

狩猟期間の“事故ゼロ”にご協力ください。

狩猟期間

11月15日(土)～平成16年2月15日(日)

- 狩猟期間中、野山に出かける場合は目立つ服装に心がけてください
- 捕獲用のワナを見つけたときは絶対に近づかないでください。お子様連れの場合は特にご注意ください。

問 林務課(☎内線292)

青春ing



このまちが大好き！

木下 栄 子さん(26) 〓郡町一丁目〓

10月18日に開催された「えちぜん鉄道開業イベント」の展示ブースで元氣いっぱいお手伝いしていた木下栄子さん。

以前、歯科衛生士として福井市内の歯科医に勤めていた木下さんですが、今は家業の手伝いに一所懸命だそうです。えちぜん鉄道についてたずねたところ「小さい頃から、九頭竜川の向こう岸を走る電車を見て育ちました。甥っ

子たちがうれしそうに乗っている姿を見て、やっぱり電車っていいなあ」と思ったそうです。

また、勝山の魅力について、「四季折々の豊かな自然とおいしい水や空気は最高です」と語っていただきました。遠くの国や町を訪問し、さまざまな考えのひとたちと話すのが大好きだという木下さん。これからも持ち前のチャレンジ精神でがんばってください。

出会い

ふれあい

すてきに人生

夫婦そろって元氣で米寿

久保 義 政さん、ミツ子さん(88歳) 〓本町一丁目〓



市内で理容業を営まれる義政さんがお店を出したのは、今から66年前の昭和12年の夏。やがて同じ歳のミツ子さんとは結婚。今年、めでたく夫婦そろって米寿を迎えられました。

一緒に理容師をしてきたミツ子さんは、息子さんの結婚を機に引退しましたが、今も義政さんは、現役の理容師として常連さんの髪にハサミをあてているほか、市内の障害者団体の役員として活躍しておられるそうです。義政さんの毎日の楽しみは、「大好

きな盆栽の世話と、元気に仕事ができること」だそうです。

今も毎日、針仕事に一所懸命で、「8人の孫と6人のひ孫の顔を見ると元氣が出ます」というミツ子さんの楽しみは「家族での温泉行き」だそうです。

そして、夫婦そろっての目標は、「修行中の孫が一人前になって帰ってくるまでがんばること」という元氣な久保さんご夫妻です。

仲間 GROUP ■■■■■■



繊維のまち、勝山の新しい可能性を発見したい

ハンズフル&華麗な仲間たち

開通イベントの興奮が冷めやらぬ、えちぜん鉄道勝山駅の前に集合した不思議な衣装の集団。

実は10月18日に「維新電新」と銘打って開催されたファッションショーの企画運営をされたデザイナー、プランナーそしてモデルのみなさんです。

衣装作りや企画を担当したハンズフルは、市内の機業や縫製業で働く若手

による企画グループとして知られていきます。

代表の川崎樹一郎さんにお聞きしたところ「これからはハンズフルの本質である『ものづくり』集団として、ファッションショーのもうひとつ先を目標にしたい」とのことです。

ショーを彩った22人のモデルの内、プロは一人だけ。残りは市内を始め、

三国町、大野市、鯖江市、福井市、武生市、金津町・・・県内各地から集まった自薦他薦のアマチュアだそうです。モデルとして参加した竹生良子さん

におうかがいしたところ「今年で4年目、今回はいっぱい練習しました。おかげでとてもクオリティの高いショーができて楽しかった」と感想をいただきました。

繊維のまち、勝山市の新しい可能性、そして無関心層と呼ばれることの多い若者のもうひとつの顔を見せてくれる、それが「ハンズフル&華麗な仲間

たち」です。



がんばれ元気



お菓子をくれなきや、いたずらするぞ

竹原 由美さん(11)

|| 片瀬町1丁目 ||

魔女や自由の女神に扮した県内のALT(外国語指導助手)に、「Trick or treat(お菓子をくれなきや、いたずらするぞ)」と楽しそうに声をかけていた竹原由美さん。

竹原さんが参加したのは、11月7日に国際交流事業として開かれた「ハロウィンパーティ」です。

国際交流員のハドソンさんが学校訪問をしたときに誘われたそうですが「今年はじめて参加したけどALTの男の人はみんなかっこよかったし、女の子はみんなが可愛らしかった」と感想を話してくれました。

4歳になる弟の世話が楽しみという竹原さんの将来の夢は、「保育士さんや幼稚園の先生みたいに小さい子どもとふれあいができる仕事」だそうです。

国語と社会が大好きな竹原さん、優しいお姉さんでいてくださいね。

平成14年度

水道事業会計事業報告

毎年清浄で安全な水道水の安定供給を図りながら水道事業の健全経営に努めてまいりましたが、本年度においても前年度と同様、営業外経費等の増加により損失を計上する結果となりました。

収入の柱である水道料金収入は、経済の低迷による大口使用者の節約、少子化に伴う人口減少といった社会構造の変化により、一段と減少しています。また、借り入れた企業債の元利償還金や減価償却費等の経費の増加もあって、今後も厳しい状況が続くものと考えられます。

拡張事業

拡張事業費は5902万2千円で、そのうち水道水源開発施設整備事業浄土寺川ダム負担金は3584万円（前年度繰越分2598万4千円、当該年度分985万6千円）となっています。

また、本年度は取水施設に至る管理道路の整備を行いました。

改良事業

改良事業費は1012万4千円で、施設改良としては、滝波橋添架配水管補強工事を行い、橋梁添架配水管の補強に万全を期しました。今後電気計装設備の老朽化に伴い更新費用が増加するものと考えています。

給水事業

総配水量は2999千立方メートル（前年度比0.16%増）、使用量（有収水量）は2580千立方メートル（前年度比0.04%増）の実績となりましたが、要因として冬季における融雪に水道水を使用したことが考えられます。

財政状況

総事業収益3億3535万3千円、事業費用は3億4774万5千円、特別損失18万4千円で、この結果当年度は純損失1257万6千円を計上する結果となり、その補てんに前年度繰越利益剰余金を充て、当年度末処分利益

剰余金551万4千円を計上しました。

また、資本的収入においては企業債を含めて5076万4千円、建設改良費や企業債償還金などの支出合計額は1億5540万4千円となり、収入額が支出額に対して不足する額は当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

詳細については、決算書を勝山市立図書館に備えてありますのでご覧ください。

上水道業務状況

項 目	業 務 量	前年度比
給 水 人 口	22,256 人	-0.91%
給 水 戸 数	6,344 戸	-0.19%
年 間 総 配 水 量	2,999,222 m ³	+0.16%
年 間 有 収 水 量	2,579,931 m ³	+0.04%
有 収 率	86.02 %	-0.12%
導 送 配 水 管 延 長	201,660.4 m	増減なし

浄土寺川本ダムで打設式

県が建設を進めている浄土寺川ダムで、10月10日、本ダムのコンクリート打設式が行われました。

浄土寺川と九頭竜川との合流点から5.7キロ上流に建設されている浄土寺川ダムは、洪水調節や水道水確保などの機能をもつ多目的ダムです。完成予定は平成20年で周辺道路の整備などを含む総工事費は330億円、本ダムの総貯水量は216万トンでダムの高さは72メートル。

式典には関係者ら約100名出席し、県土木部長ら4名がコンクリートが入ったリフトを操作するスイッチを押すと、勢いよくコンクリートが流れ落ち、出席者全員で工事の安全を祈願しました。

